第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5年 11月

基本目標	5	次世代に引き継ぐことができるまちづくり
政策	1	住民が活躍するまちづくり
施策	①	町民参加のまちづくりの推進

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	まちづくり町民みらい会議 の開催回数【単年】	目標値	回	/	/	/	/	5	5	
			実績値	回	2	2				0	
		現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0
		3	5	5	評価		c	c			
	2	まちづくりへの町民参加に 関する基本ルールの作成	目標値	—	/	/	/	/	作成済	作成済	
			実績値	—	未着手	未着手				0	
		現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	—	—	—	—	
		—	作成済	作成済	評価		d	d			
	3	まちづくりアイデアコンテス トの実施回数【単年】	目標値	回	/	/	/	/	/	1	1
			実績値	回	0	0				0	
		現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		—	1	1	評価		d	d			
成果 指標	1	まちづくり意見公募手続制 度による住民からの意見提 出件数(1案件あたりの平 均)	目標値	件	/	/	/	/	5	5	
			実績値	件	1.5	0				0	
		現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		3.3	5	7	評価		c	d			
	2	まちづくり活動支援事業交 付金を活用した住民主体に よるまちづくり活動の件数 【単年】	目標値	件	/	/	/	/	5	5	
			実績値	件	2	3				0	
		現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
		2	5	7	評価		c	b			
	3	(ア)まちづくりに意見・要望 を反映させる場や機会に対 する住民満足度	目標値	%	/	/	/	/	50	50	
			実績値	%	—	—	—	—		0	
		現状(H30) 中間(R7) 最終(R12)			達成率	%	—	—	—	0.0	0.0
		17.5	50	70	評価		/	/	/		
特記事項	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)						
活-1											
活-2											
活-3											
成-1	2案件実施、意見3件	7案件実施、意見0件									
成-2	商工会青年部、キックバイク	集いの社、パオパブ、商工 会青年部									
成-3											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞					
主な事業・取組	1. 町民からの選出による「まちづくり町民みらい会議(仮称)」を開催する			R4(2022)年度実績額	357千円
細事業名Ⅰ	まちづくり町民みらい会議開催事業	実	5-1-①-1	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	「海！山！川！地域資源を活かしたアウトドアによるまちづくりの可能性」をテーマとし、町民19人が参加して2回のワークショップを開催し、町の自然や産業といった資源を活かした体験型観光の推進について意見交換、アイデア出しを行った。				
進捗状況と課題	会議のテーマは毎年異なるものとする予定であり、令和5年度は「町民みんなで盛り上げるサンタのまちづくり」とした。町民のまちづくり参加意識を高めるためにも、的確なテーマの設定と運営方法が課題である。【企画防災係】				

主な事業・取組	2. まちづくりへの町民参加に関する基本ルールを作成する			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	他の自治体で制定されているような「まちづくり参加条例」は現時点で検討段階にない。町民のまちづくり参加意識が高まったタイミングで条例を制定すべきと考える。【企画防災係】				

主な事業・取組	3. まちづくりアイデアコンテストの実施			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	具体的な実施への検討にも至っていない状況である。【企画防災係】				

＜継続的事业＞					
主な事業・取組	1. 町内会連合会活動の活発化により、まちづくりへの参加意識を向上させる			R4(2022)年度実績額	1,659千円
細事業名Ⅰ	町内会連合会育成事業	実	5-1-①-2	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	町内会連合会の主催事業として、特別活動助成事業、サンタランドツリー助成事業、ルート336花壇づくり事業、共催事業として生涯学習まちづくりセミナーを実施した。ふるさとクリーン作戦と移動町内会長会議は新型コロナウイルスの影響で、町民パークゴルフ大会は雨天により中止となった。【ふれあいの係】				
進捗状況と課題	ルート336花壇づくり事業は、過去の参加人数と比較して微減～同程度で推移しているが、理由は事業所(協力依頼先)からの参加者増で町内会からの参加者減がカバーされているため。ふるさとクリーン作戦も同様。連合会行事の参加者の多くは高齢者で、若い人は事業所からの参加者の割合が高い。当面は同程度の規模で事業を実施できると考えられるが、若年層の町内会活動参加への意識付けができないと、一気に規模が縮小する可能性がある。【ふれあいの係】				

主な事業・取組	2. 集会所の利用環境を向上させ、まちづくり活動等の活発化を図る			R4(2022)年度実績額	7,858千円
細事業名Ⅰ	集会所管理業務	実	5-1-①-3	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	町内集会所及び寿の家の管理を各管理委員会・町内会に委託し、適正な管理に努めた。また、経年劣化が進んだ施設の改修工事や破損箇所等の修繕を行い、利用者への良好な施設環境提供に努めた。【ふれあいの係】				
進捗状況と課題	新型コロナウイルスの影響により各種集会や行事が自粛・中止されたため減少していた利用件数・利用者数が、徐々に回復している(R4 504件5,686人、R3 405件4,531人、H30 926件13,612人)。五類に移行したことにより、利用件数・利用者数は前年比で更に増加する見込み。老朽化・経年劣化が進んでいる施設が複数あるため、優先順位を付け計画的に改修工事等を行い、施設の維持管理に努める必要がある。【ふれあいの係】				

主な事業・取組	3. ボランティア活動の普及・啓発を図る			R4(2022)年度実績額	462千円
細事業名Ⅰ	福祉ボランティアポイント事業	実	2-1-②-12	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅱ	ボランティア団体活動助成事業	実	2-1-②-13	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	介護予防、福祉ボランティア養成研修修了者に対し、ボランティアに応じたポイントの発行と商品券との交換事業を実施。また、広尾町社会福祉協議会に委託し、ボランティアセンターに対する活動費の補助やボランティア団体に対する助成を実施。				
進捗状況と課題	事業内容は近年変わらず実施している。近年ボランティア活動の担い手不足が課題である。				

主な事業・取組	4. 各種審議会・委員会委員の公募制を促進する			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	第5次行政改革大綱(後期)において「審議会等委員公募制実施指針」の作成を検討することとしており、委員の成り手不足や女性委員の積極的な登用などの課題に対応したルールづくりについて、「町民参加に関する基本ルールづくり」と併せて取り組む必要がある。【企画防災係】				

主な事業・取組	5. まちづくり意見公募手続制度を推進する			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	まちづくり意見公募手続制度実施事業	実	—	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	本制度は平成22年1月から開始されている。令和4年度は7つの案件があったが寄せられた意見は0件であった。				
進捗状況と課題	令和4年度までの総実施件数46件のうち、36件で意見提出が0件という結果となっている。公共施設に資料設置及び広報・ホームページで周知しているが、今後実施方法の再検討も必要。【企画防災係】				

主な事業・取組	6. まちづくり活動支援事業交付金の利用促進を図る			R4(2022)年度実績額	699千円
細事業名Ⅰ	まちづくり活動支援事業交付金事業	実		担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	「協働のまちづくり」を推進するため、まちづくり活動を行う3団体(新規2件、継続1件)に交付金を交付し、活動の支援を行った。				
進捗状況と課題	令和4年度は新規申請が2団体あったが、総体的に新規の団体が少ない傾向となっている。また、新規3年経過後、継続となれば5分の1の自己負担が発生するため、そこで活動を止めてしまう団体が多く、団体活動の自走を支援する役割は果たせていない状況。【企画防災係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

I：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）			記載者
福 企	A 想定以上に進んでいる	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・短期事業も未実施の項目があり、取組が遅れている面もあるが、みらい会議などまちづくりへの町民参加の機会拡大により、町民参加のルールづくりに移行することも可能になると見込んでいる。（企画課長） ・ボランティアの登録人数は伸び悩んでいるが、福祉ボランティアポイント事業は実績として微増だが伸びているので今後も継続して実施していく。（保健福祉課長）
	B 想定どおりに進んでいる		
	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

II：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）			記載者
企 福	A 有効であった	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・重要施策・プロジェクトに対する町民参加による意見反映の流れができつつあり、町民の参加意識が高まることにより、形式的ではなく、実質的な町民参加の形に徐々に近づきつつある。（企画課長） ・施策は概ね有効であるが、ボランティアのなり手不足の対策を検討する必要がある。（保健福祉課長）
	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

まちづくりの推進	町民参加の5・1・1	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
		一次評価（担当課の評価）					
		C	C				
		二次評価（主管者会議の評価）					
		C	C				
外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）							
C	C						

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5年 11月

基本目標	5	次世代に引き継ぐことができるまちづくり
政策	1	住民が活躍するまちづくり
施策	②	まちづくり人材の育成

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	「まちを学ぶ講座」の開催回数【単年】	目標値	回	/	/	/	/	3	3
			実績値	回	0	0				0
		現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	—	3	5	評価		d	d			
	2	集中講座の開催回数【単年】	目標値	回	/	/	/	/	2	2
			実績値	回	0	0				0
現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
—	2	2	評価		d	d				
成果 指標	1	まちづくり活動支援事業交付金を活用した住民主体によるまちづくり活動の件数(再掲)【単年】	目標値	件	/	/	/	/	5	5
			実績値	件	2	3				0
		現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2	5	7	評価		c	b			
	2	人材育成事業から派生したまちづくり団体の数【累計】	目標値	団体	/	/	/	/	2	2
			実績値	団体	1	1				0
現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
1	2	3	評価		c	c				
特記事項	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)					
活-1	趣味・教養学習講座「マイプラン」事業、出前講座事業 ※詳細は短期事業 参照	趣味・教養学習講座「マイプラン」事業、出前講座事業 ※詳細は短期事業 参照								
活-2										
成-1	商工会青年部、キックバイク	集いの社、パオパブ、商工会青年部								
成-2	ピロトゥーリズム推進協議会	新規結成なし								

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	<p>a 目標達成に向け順調に進んでいる。</p> <p>b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。</p> <p>c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。</p> <p>d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。</p> <p>e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。</p>
-------	---

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞					
主な事業・取組	1. 「まちを学ぶ」講座を開設する			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	※未実施 【参考(令和4年度実施)】 ①趣味・教養学習講座「マイプラン」事業:町民の学習講座を通して生きがいと教養の向上を図るため実施 全5回 延べ41名参加(講座内容:自然観察等、手作りしめ飾り講座、ハンドマッサージ) ②出前講座事業:町民の求めに応じて、町職員等が行政情報の提供を行い「まちづくり」等の理解を深めるため実施 全285回 延べ2,569名参加(講座内容:町長とふれあいトーク、自然災害、火災予防等)				
進捗状況と課題	人材バンクを中心に、まちで活躍する方々と連携して、町民が興味・関心を持てる講座の展開方法を検討することとする。【社会教育係】				
主な事業・取組	2. テーマを設定した集中講座を開設する			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	企画課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ)未実施 出前講座事業:町民の求めに応じて、町職員等が行政情報の提供を行い「まちづくり」等の理解を深めるため実施 全285回 延べ2,569名参加(講座内容:町長とふれあいトーク、自然災害、火災予防等) (Ⅱ)未実施				
進捗状況と課題	(Ⅰ)上記の参考にある講座の内容は誰でも気軽に受講できることが望ましいため、各種行政活動の導入部分をテーマにしたものが増えている。将来のまちづくりへの危機感醸成を目的とした専門性の高い講座については、まちづくり部局をはじめ、町全体でその内容を検討する必要がある。【社会教育係】 (Ⅱ)過去に2度実施した「ひろお未来塾」のようなテーマを決めた人材育成研修は参加者が集まらないなどの課題もあることから、まずは町民のまちづくり活動への意識を高めた上で開催するべきと考える。【企画防災係】				
主な事業・取組	3. 地元の産業や文化に触れる体験学習の充実を図る			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	広尾町活き生きプロジェクト交付金(体験プログラム提供)	実	5-2-②-17	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	社会教育課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ)未実施 (Ⅱ)少年学習講座で地元の産業を体験する講座を実施した。				
進捗状況と課題	(Ⅰ)産業団体と連携を図り、各学校等へ情報提供等を実施する。【企画防災係】 (Ⅱ)引き続き内容を検討して実施する。【社会教育係】				
主な事業・取組	4. 「広尾町検定」を導入する			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	令和4年度は広尾の歴史に関する資料収集を行った。しかし、検定問題の作成(分野・レベル・受験対象者等)の構想が定まらず、今後は授業で試験的に活用できないか等、学校側との連携も進めていきたい。【社会教育係】				

主な事業・取組	5. 防災リーダーを育成し、共助の力を高める			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	防災リーダー育成事業	実	4-1-①-2	担当課	企画課
細事業名Ⅱ	防災訓練実施事業	実		担当課	企画課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ)北海道が実施する「地域防災マスター認定研修会」に1名の町民が参加し、地域防災マスターの認定を得た。 (Ⅱ)令和3年度から実施している広尾高校と連携した「避難所設置・運営訓練」を実施し、参加した高校生や住民の防災意識を向上させることができた。				
進捗状況と課題	今後も町内会を通じて研修会への参加を募り、「地域防災マスター」の育成に努める。また、小中学校、高校における防災教育を充実させ、将来、防災リーダーとなる人材の育成に努める。【企画防災係】				

主な事業・取組	6. 町民の無作為抽出による「まちづくり町民みらい会議(仮称)」を開催する			R4(2022)年度実績額	357千円
細事業名Ⅰ	まちづくり町民みらい会議開催事業	実	5-1-①-1	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	「海！山！川！地域資源を活かしたアウトドアによるまちづくりの可能性」をテーマとし、町民19人が参加して2回のワークショップを開催し、町の自然や産業といった資源を活かした体験型観光の推進について意見交換、アイデア出しを行った。				
進捗状況と課題	会議のテーマは毎年異なるものとする予定であり、令和5年度は「町民みんなで盛り上げるサンタのまちづくり」とした。町民のまちづくり参加意識を高めるためにも、的確なテーマの設定と運営方法が課題である。【企画防災係】				

<継続的事業>					
主な事業・取組	1. まちづくり活動を行っている住民や団体に研修機会を提供する			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	※実施なし				
進捗状況と課題	人材育成研修を実施しても参加者が集まらないなどの課題がある。まずは、まちづくり町民みらい会議などの活動を通じて、町民のまちづくり活動への意識を高めることが必要である。【企画防災係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	
企社	A	想定以上に進んでいる	評価理由 ・防災リーダーの育成や、まちづくり町民みらい会議の開催は、想定どおりに行うことができたが、その他の取組は実施することができなかった。（企画課長） ・人材育成につながるよう、各団体が希望する講座を開講することができた。毎年利用する団体もあり、町民の学びが習慣づいてきていると思われる。（社会教育課長）		
	B	想定どおりに進んでいる			
	C	少し遅れている			
	D	大幅に遅れている			

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	
企社	A	有効であった	評価理由 ・まちづくり町民みらい会議は人材育成の面でも大変有効であったが、その他の取組は未着手のものが多く、効果が見られない。（企画課長） ・人材バンクや出前講座で用意しているメニューの内、希望のないものもあるため、周知と内容更新を引き続き行うこととする。（社会教育課長）		
	B	概ね有効であった			
	C	あまり有効でなかった			
	D	有効でなかった			

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

		R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
人材の育成	5	一次評価（担当課の評価）				
	1	D	D			
	4	二次評価（主管者会議の評価）				
	2	D	D			
	3	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	2	D	D			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

		年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
付帯意見		R3(2021)		
		R4(2022)		
		R5(2023)		
		R6(2024)		
		R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5年 11月

基本目標	5	次世代に引き継ぐことができるまちづくり
政策	1	住民が活躍するまちづくり
施策	③	広報・広聴、情報公開の充実

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	町民通信員など町民による 広報紙への情報発信回数 【単年】	目標値	回	/	/	/	/	12	12
			実績値	回	2	9				0
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	16.7	75.0	0.0	0.0	0.0
	0	12	36	評価		b	b			
	2	町民通信員など町民による SNSへの情報発信回数 【単年】	目標値	回	/	/	/	/	24	24
			実績値	回	48	14				0
現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	200.0	58.3	0.0	0.0	0.0	
0	24	48	評価		a	c				
成果 指標	1	(ア)行政に対する住民の 意見や要望を反映させる場 や機会に対する満足度	目標値	件	/	/	/	/	30	30
			実績値	件	-	-	-	-		0
	現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	-	-	-	0.0	0.0
	17.5	30	50	評価		/	/	/		
特記事項	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)					
活-1	町民通信員:表紙2回	町民通信員:9回								
活-2	町民通信員:15回 広尾高校生:33回	町民通信員:14回								
成-1										

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

<短期的事業>				
主な事業・取組	1. 町民通信員によるSNSを活用した情報発信を強化する	R4(2022)年度実績額	46千円	
細事業名Ⅰ	町民通信員育成活用事業	実	5-1-③-5	担当課 企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R4(2022)年度 実施内容	昨年度の町民通信員3名を引き続き委嘱した。また広尾高校生にも通信員としての活動に協力を依頼した。情報発信スキル向上のための研修会を1回(2コマ)開催し、Instagramでの投稿を中心に活動した。投稿回数～町民通信員:14回【ふれあいの係】			
進捗状況と課題	町民通信員、広尾高校生によるSNSでの情報発信を継続する。また情報発信スキル向上を目的とした研修会も随時開催する。公募による新規の町民通信員の確保、高校生通信員の活動の低迷が課題。高校生の活動は、全校生徒への依頼と合わせて写真部に別途依頼するなどして回復させたい。【ふれあいの係】			

＜継続的事業＞					
主な事業・取組	1. 町民参加型の広報紙へと転換する			R4(2022)年度実績額	5,371千円
細事業名Ⅰ	広報ひろお印刷事業	実	5-1-③-7	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	町民通信員が撮影した写真を表紙にしたり、作成した記事を掲載した。また町民かわら板に町民発信の記事を掲載することで、町民参加の広報づくりを推進した。 町民通信員～表紙5回、単独の記事2回、タウンピックアップ2回【ふれあいの係】				
進捗状況と課題	行政として発信すべき情報と町民が求める情報にギャップがあることが課題となっている。また掲載内容・言葉づかいが難しいため記事が興味を引かないとの意見が出されている。アンケートフォーム・モニター会議で出された町民からの意見を参考にしつつ、町民通信員を活用することで行政目線だけでなく町民に近い視点からの情報発信を推進する。また、「町民かわら板」のコーナーは当面継続する。【ふれあいの係】				

主な事業・取組	2. 防災行政無線を活用し、町民への情報発信を行う			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	平日は12時半と19時半の2回定時放送を行った。また災害関係の情報や断水、通行止情報など公益性及び緊急性の高い情報は、随時放送を行った。放送文は、原課から提出されたものを必要に応じて聞き取りやすくなるように修正して放送した。【ふれあいの係】				
進捗状況と課題	現在の放送方法で引き続き実施する。【ふれあいの係】				

主な事業・取組	3. SNSと連動させるなど町公式ウェブサイトの情報発信力を強化する			R4(2022)年度実績額	1,056千円
細事業名Ⅰ	公式ウェブサイト保守管理事業	実	5-1-③-8	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	令和元年度に行った全面改修により、更新情報等はtwitterと連携できる体制となっている。【ふれあいの係】				
進捗状況と課題	新ウェブサイトへの移行に合わせ担当課でページを管理する体制に変更したことで、情報更新の速度・頻度ともに向上したと考えられる。一方でページの管理(新規情報の発信・更新)について担当課で差があり、古い情報が掲載されたままになっているなどの課題がある。立ち上げ後4年経過していることから近い将来デザイン・機能等を改修することが望ましい。また、今後はウェブアクセシビリティ(高齢者や障がい者などでも情報にアクセス・利用できること)に一層配慮する必要がある。【ふれあいの係】				

主な事業・取組	4. 町民がより意見を出しやすくするため、広聴(町政懇談会、地域分担制、ご意見箱など)の方法について、随時見直し・改善を図る			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	・新型コロナの影響により単位町内会の総会は書面開催が多数を占めたことから、職員の派遣は2件に留まった。また、通年での単位町内会からの要望は17件だった。ご意見箱には7件の意見・要望が寄せられた。 ・町政懇談会を6団体と開催し、72人が参加した。また、開催結果を広報紙に掲載し、町民に周知を図った。				
進捗状況と課題	・総会時期に各町内会に地域分担制についての案内を送付し、希望する町内会に担当職員を派遣することで、引き続き役場と単位町内会の関係を維持する。ご意見箱については設置を継続し、認知度向上のため広報等により制度の周知を図る。【ふれあいの係】 ・令和2年度から開催方法を団体との懇談形式としているが、懇談相手団体が固定しており、実施団体を増やすための取組が必要である。【企画防災係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

I：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）		記載者	企画課長 山岸
○	A 想定以上に進んでいる	評価理由	町民通信員制度など、広報への町民参加に向けた取組を着実に進め、成果が見られる。町民の意見を聞く広聴の部分については、町政懇談会や地域分担制にマンネリ化が見られるので、実施方法に工夫が必要である。
	B 想定どおりに進んでいる		
	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

II：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）		記載者	企画課長 山岸
○	A 有効であった	評価理由	ホームページやSNSの活用を中心に今後も各種情報発信を進める。町民のまちづくりに対する参加意識を高めるため、情報発信や広聴の取組が形骸化しないよう、常に課題を捉えながら改善を図る必要がある。
	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

情報公開の充実 5・1・3	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	B	B			
	二次評価（主管者会議の評価）				
	B	B			
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
B	B				

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

<R4施策評価点検による政策等プロジェクト委員会の評価変更理由>

担当課としては、町民によるSNS発信回数の実績が大幅減となったことを大きな理由として昨年度から評価を後退させているが、取組内容自体は昨年と同様、または前進している部分もある。SNS発信減はあくまで結果であり、主体となっていた高校生の発信が熱心に協力いただいた担任の異動によることも大きいとのこと。全体の取組は推進できていると判断することから昨年と同じ「B」評価とする。

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5年 11月

基本目標	5	次世代に引き継ぐことができるまちづくり
政策	2	地方創生の推進
施策	①	効果的・効率的な行財政運営

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	公共施設(建物)の管理面積	目標値	㎡					117,115	117,115
			実績値	㎡	123,334	121,701				0
		現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—	—	—
	123,321 117,115 110,989	評価		c	c					
	2	地方債(借金)残高の金額	目標値	億円					122.3	122.3
			実績値	億円	133	123				0
現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	—	—	—	—	—	—	
157.6 122.3 77.7	評価		b	b						
成果 指標	1	公共施設(建物)の管理費【単年】	目標値	百万円					585	585
			実績値	百万円	452	528				0
		現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—	—	—
	616 585 554	評価		a	a					
	2	毎年の償還(返済)額【単年】	目標値	百万円					1,571	1,571
			実績値	百万円	1,597	1,649				0
現状(R1) 中間(R7) 最終(R12)		達成率	%	—	—	—	—	—	—	
1,635.8 1,571 1,138	評価		b	c						
特記事項	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)					
活-1		旧野塚プール、旧音調津保育所、錦町公住2棟、教員住宅1棟								
活-2										
成-1	改修工事の減少	照明のLED化工事の実施								
成-2		港湾借換債の償還増								

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞			
主な事業・取組	1. 行政改革大綱に基づき、行財政改革を実行する	R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	第5次行政改革の進行管理	実	担当課 総務課
細事業名Ⅱ		実	担当課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R4(2022)年度実施内容	選挙投票所を9投票所から7投票所に統合を図り、新たに集会所施設等22施設の指定管理者を導入した。他の項目についても、継続実施と実施に向けた検討を行っている。		
進捗状況と課題	基金残高は計画より改善されているが、歳出の削減は計画ほど進んでいない。(特に人件費の削減。)(総務係)		

主な事業・取組	2. まちの財政を学ぶ勉強会を開催する		R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課	総務課
細事業名Ⅱ		実	担当課	
細事業名Ⅲ		実	担当課	
R4(2022)年度実施内容	※未実施			
進捗状況と課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、多人数が集まること自体が敬遠される状況であり、実施が難しい。【財政係】			

<継続的事业>				
主な事業・取組	1. 行政評価を本格導入することにより、事業を適正に推進するとともに必要な見直しを行う		R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実	担当課	
細事業名Ⅲ		実	担当課	
R4(2022)年度実施内容	令和3年度からスタートした新たなまちづくり計画に合わせて施策評価を導入し、38施策と8つの重点プロジェクトについて担当課、主管者会議、まちづくり委員会と3段階の評価を実施した。評価結果は町議会で報告したほか、町広報、ホームページ等で町民に周知を図った。			
進捗状況と課題	評価方法の簡略化を図ったが、審査に時間がかかることが課題となっている。特にまちづくり委員会においては説明に終始し、質疑も全くなかったため、審査方法について検討が必要である。【企画防災係】			

主な事業・取組	2. 財務書類を活用して、財政分析と公共施設の適正管理を行う		R4(2022)年度実績額	1,870千円
細事業名Ⅰ	財務書類の作成、公表	実	担当課	総務課
細事業名Ⅱ		実	担当課	
細事業名Ⅲ		実	担当課	
R4(2022)年度実施内容	令和2年度財務書類の作成を行った。			
進捗状況と課題	財務書類の作成に遅れが出ている。活用した施設の管理までは進んでいない。【財政係】			

主な事業・取組	3. 事業の適正な推進により、地方債(借金)残高を縮減する		R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課	総務課
細事業名Ⅱ		実	担当課	
細事業名Ⅲ		実	担当課	
R4(2022)年度実施内容	実施事業に優先順位をつけ、地方債発行額を抑制した。			
進捗状況と課題	残高は順調に減少しているが、将来まち計に載っていない施設の長寿命化等の大規模な設備投資が見込まれている。【財政係】			

3. 施策の評価（担当課における評価）

I：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）			記載者
企 総	A 想定以上に進んでいる	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地方債新規発行抑制により地方債残高は順調に減少しているが、施設の長寿命化事業はまち計に搭載していないため、今後は計画以上の地方債の発行が見込まれる。また、公共施設の管理面積については、財源不足により休止施設の解体が進んでいない状況である。（総務課長） ・第6次まちづくり計画のスタートに合わせて、施策評価を実施した。（企画課長補佐）
	B 想定どおりに進んでいる		
	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

II：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）			記載者
総 企	A 有効であった	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次行革の推進により、一定程度の財政状況の改善が見られた。しかし、財政の健全化は職員のみならず、町民の意識も必要なため、周知活動は行っていかなければならない。（総務課長） ・施策評価の結果が次年度の改善等につながっていない状況にある。評価から改善につなげるサイクルについて職員の理解を深める必要がある。（企画課長補佐）
	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

効果的・効率的な 行政運営	5	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
	2	一次評価（担当課の評価）					
		C	C				
	1	二次評価（主管者会議の評価）					
		C	C				
外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）							
	C	C					

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 5年 11月

基本目標	5	次世代に引き継ぐことができるまちづくり
政策	2	地方創生の推進
施策	②	移住・定住・交流・関係人口の創出

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	移住体験住宅利用者数【単年】	目標値	人					20	20	
			実績値	人	8	13				0	
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	40.0	65.0	0.0	0.0	0.0
	6	20	30	評価		c	c				
	2	移住体験延べ滞在日数【単年】	目標値	日						350	350
			実績値	日	126	203				0	
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	36.0	58.0	0.0	0.0	0.0
	103	350	400	評価		c	c				
	3	労働を伴う移住体験人数【累計】	目標値	人						12	12
			実績値	人	10	15				0	
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	83.3	125.0	0.0	0.0	0.0
	4	12	20	評価		b	a				
	4-1	農山漁村ホームステイ事業への参加者数(受入家庭)【単年】	目標値	延べ戸数						45	45
			実績値	延べ戸数	0	0				0	
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
79	45	45	評価		c	c					
4-2	農山漁村ホームステイ事業への参加者数(子ども)【単年】	目標値	延べ人数						180	180	
		実績値	延べ人数	0	0				0		
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
311	180	180	評価		c	c					
5	給食用食材を提供した東京都の小中学校数【単年】	目標値	校						10	10	
		実績値	校	7	7				0		
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	70.0	70.0	0.0	0.0	0.0	
2	10	10	評価		c	c					
6	結婚相談所入会者数	目標値	人						30	30	
		実績値	人	4	5				0		
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	13.3	16.7	0.0	0.0	0.0	
10	30	30	評価		d	d					
7	まちづくり事業の開催回数【累計】	目標値	回						5	5	
		実績値	回	0	1				0		
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
0	5	10	評価		c	c					
成果 指標	1	体験事業を経た移住者数【累計】	目標値	人						10	10
			実績値	人	1	1				0	
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	0	10	20	評価		c	d				
	2	年間婚姻数(広尾町に婚姻届を提出した組数)【単年】	目標値	組						24	24
実績値			組	14	23				0		
現状(R1)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	58.3	95.8	0.0	0.0	0.0	
20	24	24	評価		d	b					

特記事項	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
活-1	市街3組6人、音調津2組2人	市街5組10人、音調津2組3人			
活-2	市街地70日、音調津56日	市街地111日、音調津92日			
活-3	体験住宅1人、ワーホリ5人	ワーホリ5人			
活-4-1	コロナ拡大により中止	コロナ拡大により中止			
活-4-2	コロナ拡大により中止	コロナ拡大により中止			
活-5	提供3校、購入4校	提供5校、購入2校			
活-6	おびしんキュービット	おびしんキュービット			
活-7		町民交流イベント1回			
成-1		実績なし			
成-2		結婚支援事業 利用2組			

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	
	a 目標達成に向け順調に進んでいる。
	b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
	c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
	d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
	e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞					
主な事業・取組	1. シーズンステイ志向の人に対する受入態勢を構築する			R4(2022)年度実績額	758千円
細事業名Ⅰ	移住体験事業	実	5-2-②-12	担当課	企画課
細事業名Ⅱ	広尾町生き生きプロジェクト事業	実	5-2-②-17	担当課	企画課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ)新型コロナウイルス感染状況を考慮しつつ、移住体験住宅の通年利用を再開した。利用日数も2棟合計で200日を超えたが、実際の移住にはつながらなかった。 (Ⅱ)「ふるさとワーキングホリデー」に取り組み、道外の社会人、大学生ら5人が町内の酪農家などで2週間程度働きながら地域住民と交流を行った。				
進捗状況と課題	(Ⅰ)移住者を増加させるため、移住体験住宅の現役世代の利用拡大に向けて取り組んでいく必要がある。 (Ⅱ)「ふるさとワーキングホリデー」は参加者から高評価を得ており、広尾町のファンづくりにつながっているが、事業終了後の交流継続が課題である。また、事業継続に向け、受入事業所の掘り起こし、魅力あるプログラムの提供が必要である。【企画防災係】				

主な事業・取組	2. 結婚支援の取組を行う			R4(2022)年度実績額	395千円
細事業名Ⅰ	出会いの場創出事業	実	5-2-②-13	担当課	企画課
細事業名Ⅱ	広尾町結婚新生活支援補助金	実	5-2-②-19	担当課	企画課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ)町民交流イベントを実施した。(詳細・事業費は「3.「まちづくり×婚活」事業を実施する」に記載) (Ⅱ)新規に結婚した世帯に対し、住居費及び引っ越し費用の一部を支援する事業を新たに実施した。 ・実績:2組				
進捗状況と課題	(Ⅰ)令和5年度も町民交流イベントの実施を継続する。令和4年度は子どもの参加が多く、出会いの場創出にはつながらない結果となったため、参加対象を限定するなど対策を検討する。【企画防災係】 (Ⅱ)年齢や所得の制限があるため、対象とならない世帯が出てくる課題がある。国の補助事業を活用しているため、対象要件の緩和等については慎重に検討する必要がある。【企画防災係】				

主な事業・取組	3. 「まちづくり×婚活」事業を実施する			R4(2022)年度実績額	306千円
細事業名Ⅰ	「まちづくり」×「婚活」事業	実	5-2-②-14	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	<p>同じ趣味や特技を生かせる活動を通して異業種、多世代の方々が交流できるイベントを実施した。</p> <p>・開催日: 令和4年10月16日 ・会場: 旧野塚小学校グラウンド</p> <p>・内容: たき火やキャンプ飯づくり、野外レクを中心としたアウトドア体験</p> <p>・参加者: 24人 ・運営体制: 町民有志による実行委員会</p>				
進捗状況と課題	<p>令和5年度も町民交流イベントの実施を継続する。令和4年度は子どもの参加が多く、出会いの場創出にはつながらない結果となったため、参加対象を限定するなど対策を検討する。また、運営方式は町民主体としたことから異業種間の町民交流が図られた。次年度も町主体ではなく民間主体の運営方式とする。【企画防災係】</p>				

主な事業・取組	4. 文化・スポーツ活動の合宿を誘致する			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	社会教育課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	<p>老朽化などにより活用できる施設が不足している課題はあるが、「冷涼な気候や海があるまち」をPRポイントに合宿等の誘致に向けて取り組む。【社会教育係】</p>				

<継続的事业>					
主な事業・取組	1. 移住体験住宅を活用した移住体験希望者の受け入れを行う			R4(2022)年度実績額	338千円
細事業名Ⅰ	移住体験事業	実	5-2-②-12	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	<p>移住体験住宅を市街地と音調津地区に1棟ずつ設置し、計7組13名の利用があった。【企画防災係】</p>				
進捗状況と課題	<p>移住体験住宅の利用者はリタイア組が多いため、現役世代の移住者増加に向けて事業内容の再構築も検討していく必要がある。【企画防災係】</p>				

主な事業・取組	2. 子ども農山漁村ホームステイ事業を実施する			R4(2022)年度実績額	440千円
細事業名Ⅰ	子ども農山漁村ホームステイ事業	実	5-2-②-15	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	<p>東京都荒川区立尾久西小学校の5年生69人を受け入れる予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止とした。また、関連事業として荒川区内の小学校4校、中学校1校に町産の給食用食材を提供(計19回)し、荒川区内2校(計32回)から昆布の注文があった。</p>				
進捗状況と課題	<p>新型コロナウイルスの影響により受入家庭の意向も確認し、子どもの受入は3年連続の事業中止となったが、オンラインを活用しての交流授業やハロウィンかぼちゃの送付などの交流事業を実施した。令和5年度は受入家庭の意向調査も行った上で事業の再開を決定し、8月に受入を行う予定。【企画防災係】</p>				

主な事業・取組	3. 姉妹市町村やふるさと会との交流事業を推進する			R4(2022)年度実績額	98千円
細事業名Ⅰ	姉妹市町交流事業	実	5-2-②-16	担当課	企画課
細事業名Ⅱ	各広尾会交付金事業	実		担当課	企画課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	(Ⅰ)長崎県西海市や十勝管内芽室町との交流を実施した。イベントでの物販交流も再開するなどコロナ以前の状況に戻りつつある。また、子どもスポーツ交流やコラボイベントなど地域おこし協力隊による新たな取組が実施された。 (Ⅱ)東京広尾会が3年ぶりに開催した総会に参加した。帯広広尾会・札幌広尾会は、新型コロナウイルス感染症の影響により総会は中止となった。				
進捗状況と課題	(Ⅰ)地域おこし協力隊による新たな交流イベントが企画・実施された。令和5年度も引き続き行われる予定となっている【企画防災係】 (Ⅱ)令和4年度末をもって帯広広尾会が解散した。札幌広尾会は令和5年度の総会開催に向けて活動を再開したとのこと。いずれのふるさと会も新型コロナウイルス感染症、会員の高齢化により活動がままならない状況が続いている。新規会員の獲得が困難との話もあるが、個人情報保護意識の高まった現在では勧誘方法が限定される。3～4月発行の広報紙に会員募集情報を掲載し、組織の認知度も上げるなどの対応が必要と考えられる。【ふれあいの係】				

主な事業・取組	4. 十勝地域と東京都台東区・墨田区との連携交流事業を実施する			R4(2022)年度実績額	822千円
細事業名Ⅰ	北海道十勝地域と東京たいとう・すみだ連系交流事業	実		担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	十勝地域と東京都台東区・墨田区がそれぞれの地域が持つ特色を生かした人的及び経済交流を通じて、関係人口の拡大や地域活性化を図るため、食材フェアや鹿肉・エゾ鹿革を用いた特産品づくり、両区民を対象とした十勝モニタリングツアーなどの交流事業を実施した。				
進捗状況と課題	本事業は令和4年度で終了し、今後は主に民間ベースでの交流となっていく見込みであるが、本町は個別の交流を継続していく予定はない。【企画防災係】				

主な事業・取組	5. 空き家バンク制度の充実を図り、町外からの移住定住を促進する			R4(2022)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	空き家バンク事業	実		担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R4(2022)年度実施内容	平成28年度から制度を開始しているが、令和4年度末で掲載物件は1件のみという状況にある。固定資産税納付書発送の際に制度の紹介チラシを同封し、PRを図っている。				
進捗状況と課題	チラシ発送後は問い合わせも多くあるが、実際に登録まで結びつかない状況にある。登録のための書類作成が煩雑との声もあり、登録の簡素化等も検討していく必要がある。【企画防災係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者
企社	A 想定以上に進んでいる	評価理由	・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた事業もあったが、概ね事業を実施することができた。「ふるさとワーキングホリデー」は一定の評価を得ており、シーズンステイの受入体制の構築につながったが、結婚支援の取組について遅れが生じている。（企画課長補佐） ・町内団体の活動が活発的に行われたことで町外団体との連携が生まれ、交流・関係人口の増加につながっていると思われるため、必要な支援を行う。（社会教育課長）	
	B 想定どおりに進んでいる			
	C 少し遅れている			
	D 大幅に遅れている			

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者
企社	A 有効であった	評価理由	・実施した事業については、一定の成果を得ることができたが、新たに取り組んだ町民交流イベントは結婚支援という面で改善の余地があった。（企画課長補佐） ・事業の構想や規模について、町内の既存施設のスケールで実現可能なもので再検討し、実施する必要があると思われる。（社会教育課長）	
	B 概ね有効であった			
	C あまり有効でなかった			
	D 有効でなかった			

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

移住 関係・ 人口住 の・ 交流 創出	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C	C			
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C	C			
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
C	C				

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯 意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		